

2019 年度実施概要

学校名

気仙沼市立面瀬小学校

採択活動名

「自分の考えをもち、行動する児童の育成ー地域素材の教材化と海洋教育の単元づくりを通してー」

取り組みの概要

震災復興の環境の中で、地域教育資源を掘り起こし、「環境」「多様性」をテーマとして「海に親しむ」「海を知る」「海を守る」「海を利用する」の視点に基づき、学習活動を編制してきた。総合的な学習の時間や理科、社会科などの教科横断的なクロスカリキュラムによって実践し、単元づくりを進めた。

<成果>

- ・中学年では、面瀬川から海につながる地域素材の教材化を図り、主に社会科と理科のクロスカリキュラムでの海洋教育を推進した。学習を通して、児童の思考の流れと学びの連続性を大切にして学習を展開した。ふるさとと海や暮らしのよさに気付かせ、環境に対する感性を磨くことができた。
- ・高学年では、海を通して児童が他地域や世界とのつながりを意識し、自ら環境に働きかけることができるような単元構成を工夫した。また、地球温暖化の現状について学ぶ時間を設定し、地球的危機が身近な問題であることを捉えさせた。児童は、気仙沼の人々の生活が海と深いつながりがあることを知り、自らが進んで海とかかわり、よりよい地域を創造しようという意欲を高めることができた。
- ・低学年が海に関心をもてるよう、学校行事(遠足)のねらいと目的地を見直した。また、活動の後に、図画工作科や生活科において、絵をかいたり、海で得られた自然物を使った工作を行ったりするなど、海の体験で得られた思いを表現する活動を設定した。それらの活動を通し、児童は、海を身近なものとして捉え、海に対する関心を高めることができた。

<次年度への課題>

- ・クロスカリキュラムの骨格となる指導計画を策定し、恒常的に海洋教育の指導が行えるよう環境整備を進める。そのための授業研究と研究協議を充実させたい。
- ・海洋教育を進める中で得た理解や道徳的心情の高まりを実社会で生かしたり、ムーブメントにつなげる活動を実践したりできるような指導モデルを構築したい。

活動中の写真 ※写真3枚添付

実施単元名

1. 「海で遊ぼう」(1年 学校行事, 生活科)
2. 「おもせのしき」(2年 学校行事, 図画工作科)
3. 「はたらく人とわたしたちの暮らし～スーパーマーケットのひみつ～」(3年 社会科)
4. 「物の体積と温度」(4年 理科) 指導案添付
5. 「住みよいくらしをつくる～ごみの処理と利用」(4年 社会科) ※指導案添付
5. 「学ぼう ふるさと気仙沼の海」(5年 総合的な学習の時間, 社会科, 家庭科 他)
6. 「面瀬さがし」(6年 総合的な学習の時間, 社会科 他)



2年 遠足



4年 理科



5年 総合